

私達の川のこと。

菊地 芙優

私は、前から川で遊びたいと思っ。ていまし
た。つりをしたり、石つみをしたり色々した
いな、と。でも、私の家の近くには川があり
ますが、そんな遊ぶこともできない感じで、
つまらないのです。いつか遊びたいなと思っ
ています。ところで、私は川が好きです。そ
の理由は、つほどあります。

まず、一つめの理由は、上野公園近くの川
です。三月、四月ごろその川の近くを通った
時、サウラがまんかいでした。川を見てみる
と、そのまんかいのすがたが、そのまんまう
つ、ついてきれいななと思、たからです。二
つめの理由は、そ父がつりが好きで、魚を持
って帰、てきてくれたことの話です。そ父が、
魚を持って帰、てきたぞ。見るか？ 芙優。
と見せてくれた時、魚の色が黄色でしかもキ
ラキラしていたからです。三つ目の理由は、
百人一首のことでもあることです。秋のとう



よしのじきにはもみじの葉も落ちてきますよ
ね。そのもみじの葉が小川の水面に落ちて、
橋ができるらしいです。それかきれいみたい
で見えてみたいなと思っっています。四つ目の理
由は、川の下流や中流でやる遊びのことです。
小石をつみかさねたり、水そうを作ったりと
石遊びをやってみたいと思いました。自然た
なと思います。そんなことができるのは、キ
レイな川にけたと思います。がミミ。

この作文をかいて、思ったことは、川を自

然にするということ。さい近は川にまぎ
を落としてきたなくしたり、よぶしたりして
いる人がいるので気をつけてほしいです。こ
れからも、川を大切にしていきたいです。

